## むすび

平成25年度の一般会計及び特別会計決算は、一般会計、国民健康保険特別会計、土地区画整理事業特別会計、後期高齢者医療特別会計は増額決算となり、下水道事業特別会計はほぼ同額を推移し、農業集落排水事業特別会計については、減額決算となっている。

財政は、総じて健全に運営されていたが、一般会計及び特別会計を総括した実質収支額が、 △ 308,876 千円の赤字決算をもって翌年度に引き継いだことは、健全な財政運営、財源確保の 見通し、財政収支の均衡保持等に配慮が足りなかった結果である。

加えて、国民健康保険特別会計においては収支の均衡が得られず、5年続けて次年度予算から繰上充用をして対応している。社会の高齢化が進むなかで、本町の国民健康保険加入者の一人当たりの医療費(一般、退職者)は年額 305 千円(前年度 288 千円)で前年度より 17 千円の増となっており、依然として高い状況にある。この10年間をみると、平成16年度は年額198 千円であり、10年間で107 千円増加している。この医療費の抑制対策は、喫緊の課題であり、抜本的解決が急がれる。

さて、平成25年度は、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(本部公園、宮城公園、神里ふれあい公園)、黄金森公園陸上競技場の全天候型ウレタン舗装再整備事業、ウガンヌ前公園整備事業、津嘉山北土地区画整理事業、下水道事業、宮城地区畑地かんがい排水等整備事業等の実施があり、ソフト面においては、コンビニエンスストアでの各種証明書交付、パスポート申請及び受け渡し事業、住宅リフォーム支援事業補助金等が行われ、教育面では、幼稚園において延長保育と学校給食の開始、専任園長の配置があり、北丘小学校大規模改造工事、文化センター収蔵資料データベース化事業、各種スポーツ大会など町民生活に密着した幾多の施策が推進されて、成果を収めたことは評価されるところである。

また、2年目を迎えた沖縄振興特別推進交付金事業(一括交付金)を利用した主な事業を記してみると、障がい児支援のための特別支援教育支援員(ヘルパー)配置事業、やさしい観光地づくり事業(観光客がスマートフォンを活用しやすいよう Wi-Fi アンテナを建てる)、琉球絣会館改修工事、デザイン・くくり担い手育成事業、黄金森陸上競技場備品購入(高跳び用マット、投てき用ケージ等)、文化センター収蔵庫増改築工事、翔南小学校扇風機取替工事、伝統芸能保存育成補助、防災・減災マップ作成等が行われた。

平成25年度一般会計決算は、自主財源では、基幹である町税等は微増し、全ての項目において対前年比が増であり、自主財源比率は1.5ポイント増となっている。次に、依存財源は、県支出金が大幅増となり、地方交付税が大幅減があるものの増額となっている。前年度に比べ、町債が対前年度比19.2%増えている。依然として依存財源の比率が高く厳しい財政運営となっている。

以上のように、依然として厳しい財政状況が続く中、「南風原町まちづくり基本条例」の基本理念及び基本原則を意識したまちづくりと「南風原町第四次総合計画」の長期展望のまちづ

くり、「第三次南風原町行政改革大綱」に基づく計画のもと、行政改革の進捗と主要施策の成果等に鑑み、安定した財源の確保に努め、限られた財源のなかで、引き続き、歳出の効率化・重点化を図り、健全な財政運営と行政改革を認識し、町勢の更なる進展と町民福祉の向上増進に寄与されるよう、一層のご尽力を望むものである。